

## (仮称)「静岡県東部地域サッカースタジアム構想連絡会」設立趣意書

静岡県東部地域で初のＪリーグチームとなったＪ３所属のアスクラロ沼津は、Ｊリーグ参入初年度の今期において優勝争いに絡むなど、チームの活躍により、ホームゲームは大いに盛り上がりを見せました。

また、ホームゲームを中心としたにぎわいは、単なるスポーツ振興にとどまらず、県東部地域の経済や交流の核となる可能性を示すものとなりました。

１シーズンに１５試合以上開催されるＪリーグのホームゲームは、Ｊ１チームの例からも見られるように、Ｊ２、Ｊ１へとカテゴリーが上がるにつれて県外からのサポーターなど多くの誘客や観光振興に寄与するスポーツツーリズムの重要なコンテンツとなりえます。

このように、プロサッカークラブによる地域の活性化をより推進していくには、チームが基盤を強化しつつ地域に愛されるよう活動していくことはもちろん、その拠点となるホームスタジアムがさまざまな機能を持つことで、地域の人々が楽しみ過ごす場所となっていくことが必要となります。

スタジアム自体が日ごろから人の集う場となることで、にぎわいの創出、交流の活性化、地域産業への波及効果等が期待できるものであり、地域サッカーの振興にとどまらない、まさに県東部地域のまちづくりの象徴となりうるものであります。

つきましては、将来の県東部地域のにぎわいの拠点となるスタジアムについて地域の関係者が会して整備の道筋を得るべく、本地域での議論の受け皿となる「静岡県東部地域サッカースタジアム構想連絡会」の設立を発起する次第であります。

平成 30 年 1 月 15 日

### 【発起人】

沼 津 市 長

大 沼 明 穂

一般財団法人静岡県サッカー協会東部支部 会長 坂 根 英 夫

アスクラロスルガ株式会社 代表取締役社長 渡 邊 隆 司